

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

「ロータリーは分かちあいの心」



2008.2.1
NO.8

2007～2008年度

目次

1. ガバナーメッセージ	1
2. 世界理解月間 (World Understanding Month)	2～6
3. 保健および飢餓	7
4. ガバナー補佐便り	8～12
5. よねやま情報	13
6. 新入会員紹介	14
7. 訃報	15
8. ポールハリスフェロー・米山功労者 (1 2月分)	16～18
9. ハイライトよねやま	19
10. 文庫通信	20
11. 出席報告(1 2月分)	21
12. 2月行事予定表	22



RI 会長
ウィルフリッド・J. ウィルキンソン



ガバナー 平原 祥彰

2月は世界理解月間

国際ロータリー第 2640 地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁 2 3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640

FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: http://www.rid2640g.org/hirahara/

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 平原 祥彰



寒さ厳しい日が続いておりますが皆様お元気でしょうか。
先月末、米山奨学生の面接試験が行われました。次年度米山奨学生の申込は 44 名でした。申込者の国籍をみますと、中国 21 名、韓国 12 名、台湾とネパールが各 3 名、モンゴル、スリランカ、イラン、エジプト、トルコが各 1 名でした。

今回の合格者は 22 名で継続の学生を含め 29 名が決定いたしました。この中には貝塚コスモス RC の熱意により継続となった学生 1 名が含まれています。学生諸君にはしっかり勉強して期待に答えてほしいと思います。

2 月は世界理解月間です。

ロータリアンとして国際奉仕プロジェクトについて考えてみましょう。私達は地域社会や自国の事情だけでなく、地球村の住人なのですから、国境を越えて視点を広げ見渡す必要があるのです。青少年交換学生の支援やロータリーセンター（ロータリー世界平和フェロシップ）の支援、ポリオプラスに貢献することや、WCS（世界社会奉仕）プロジェクトを実施することなどとても多くの機会があります。

ロータリアンは皆んな、国際的なプロジェクトに参加することにより、初めて国際ロータリーの意味を本当に理解することが出来るのではないのでしょうか。

その経験によって理解が深くなり親睦、友好がすすみ新たな広がりを持つこととなります。最も活発な活動の一つに WCS のプロジェクトがあります。今年度はフィリピンセブ島プログラムを実施する予定で、地区の WCS 委員会では 5 月に現地フィリピンを視察する計画を立てています。このプログラムは援助を必要とするフィリピンの人々と資金や労力を提供しようとする 2640 地区のロータリアンとを結び付けようとするものです。

我々は長い間、親睦、友情を大切にし役に立つ“いいこと”を実行して来ましたが、将来に向って新しい仕組や異なる文化を受け入れ、誠実に寛容の精神、平和主義、人権尊重等の基本を守り地球村のリーダーとして人々とともに生き続け成長、発展して行かねばなりません。最初に「ロータリー世界理解平和賞」を受賞した岩村昇博士は、「平和へと進もう。人々の中で生き、人々から学び、人々と共に工夫し、人々と共に働こう。人々の知っていることから始め、人々の持っているものを土台に建設しよう。」とおっしゃっています。

私達はメンバーの間で磨き合い研修を深め、クラブの質を高め、ロータリーの活動、サービスの質を上げて、確実に地球村のリーダーとして人々に希望を与え責務を果して行きましょう。

私と一緒に励みましょう。

私と一緒に頑張りましょう。

世界理解月間 (World Understanding Month)



パストガバナー 成川 守彦

1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。

また、2月23日の創立記念日は、**世界理解と平和の日** (World Understanding and Peace Day) と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。さらに2月23日に始まる1週間を「**世界理解と平和週間**」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。

各クラブは、「世界理解月間」に理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されていますが、具体的には、世界理解月間は世界のロータリアンが**国際奉仕プロジェクト**について考える時だといわれます。

今回は、**国際奉仕プロジェクト**について、歴史を振り返り、その本来の意味するところを考えたいと思います。

初期ロータリーで、最初に国際奉仕に類する活動が行われたのは、**1914年**、第一次世界大戦の頃といわれています。アメリカからヨーロッパに出兵したロータリアンの子弟を、イギリスのロータリアン家庭がホストしたり、アメリカ、イギリス、アイルランド、カナダのクラブによって、ヨーロッパ各地で避難民への物資補給や、傷病兵の慰問や、終戦で復員してくる軍人に対するボランティア活動などが行われました。

1921年にロータリーの国際大会が初めてアメリカを離れて、スコットランドのエジンバラで開催された時、アメリカから船をチャーターしてロータリアンが大挙出席しました。そしてアメリカ人達は「これ迄の使節団は親善とか通商とか何か目的を持って来たのだが、しかし自分達は本当の裸の人間として来たのだ。」と話をし、それではこれから裸同志の付き合いによって世界平和を達成しようではないかという事になりました。そして、「**奉仕というロータリーの理**

想に結束した職業人の世界的友好による理解、善意および国際的平和の増進」という国際奉仕の考え方が発表され、1922年ロスアンゼルス大会で、綱領の第6項目として正式に明文化されました。

このように、ロータリーの国際奉仕は個人同士の付き合いで世界平和を達成する事ではありません。即ち、ロータリーの国際奉仕は個人奉仕であり、綱領の中で謳われている国際奉仕の目的は、現在我々が日常的に行っているWCSに代表されるような人道主義に基づく援助活動とは大きくかけ離れた活動であります。

金銭や物資やマンパワーで経済的に恵まれない途上国を援助しようという発想は、1960年代の初頭から起こってきたものであります。

国際奉仕活動の一分野として、大規模救助事業が実施されたのは、1923年の関東大震災に対するアーチクラフ基金からの支出です。ご承知のように、この援助は、東京RCのロータリーに対する考え方を大きく変えました。

その後1929年にダラス大会において【大災害救助基金】が正式に設置され、更に、1941年、RI理事会によってロータリーが救助事業を実施する際の指針とも言うべき【人道主義援助および用意に関する方針】が制定されました。

<大災害救助基金> (1929年ダラス大会決議)

大災害が起こった場合、RI（国際ロータリー）理事会は被害などの状況を明らかにし、状況と表現を考えたうえで発表するべきである。大災害時に救済事業を行う機関や団体が既に存在する場合には、RIより救済基金の募集を募ることはないとしている。赤十字や他の機関が大災害の救済に努力している場合には、ロータリアンは各地方支部からの基金募集・割り当てを行うのを援助し、各救済支援団体に迅速な基金の振り分けが出来るように惜しみない協力を行うことにしている。被災地のロータリークラブに他地域のロータリークラブやロータリアンが直接基金を送金する場合は、基金を受領するクラブが基金を受け取る立場にあることを明確にし、なおかつクラブが基金を受け取りたいというはっきりとした意思表示が確認できる場合につき許可されている。

<人道主義援助及び用意に関する方針> (1941年RI理事会)

理事会は、ロータリークラブやロータリー地区が国際赤十字協会の指導の下に行う罹災地域のクラブに食料品、その他の生活必需品の収集・送付する計画を奨励できるような提案をロータリーの地区大会で行い、RI（国際ロータリー）の承認を求めいくつかの事柄を行った。

理事会は罹災地域で苦しむ人々に衣服・食料品・その他の生活必需品を提供し、苦境にあえいでいる人々に救いの手を差し伸べるようないかなる計画にも賛同している。しかし理事会

はこれらの問題は連合政府によって調査されており、それぞれの政府が不況地域で苦しむ人々への環境の改善を行うであろうと考えている。各政府の努力や援助を複雑なものにし、救助や援助をよりいっそう遅らせることになるかもしれないとして、RIによるこの問題への介入は不適切ではないかと考えている。なお理事会は、あくまでロータリークラブの活動は自主的なものであり、事情によっては援助計画を手伝うことができる、としている。一般救助政策が世界中で行われた場合は、各政府によって公式に取られた政策の補足的な援助を行う機会を見出せばよいのではないかと考えている。

RIには、様々な人道的支援を行う計画に寄付をするようたくさんの要求が寄せられている。理事会は人道的支援をなす様々な団体がいくつも存在することを認め、それ故に様々な計画が次々と出来ていることは事実であるとしている。RI自体がそれらの計画に参加することはなく、あくまでロータリークラブは自主的なものであり、ロータリアン自身が行動すべきと感じることに積極的に取り組んでいくと信じており、個人が最善を尽くすであろうと理事会では考えている。

1962年アジアから最初のRI会長に就任したニッティシ・ラハリー（インド）は、新しい形の国際奉仕の実践活動である**世界社会奉仕** World Community Service を提唱し、文盲対策、スラム街対策などを実施しました。日本におけるWCS活動の第1号は、365地区によるインドの救癩事業です。

そして、1963年、カール・ミラー会長の時、数名のロータリアンが選ばれて、RIの委嘱を受け、夫々南北の問題を解決するために、地球上の各地域に派遣されました。2680地区深川PDGのお話によりますと、

- ① 或るロータリアンは、南米のホンジュラスで、農業用灌漑の技術を教え、
 - ② 或るロータリアンは、初等教育の問題を担当しました。
 - ③ 日本からは、姫路の齋木亀次郎氏（1968-69年DG）が、インドのデリーに行って、6週間の中小企業研修を実施しました。
- しかし、これらの試みは失敗しました。

何故失敗したか、

- ① 参加した人達の心構えの問題、先進国の人が開発途上国の人に、慈悲心を持って臨んだのではないか、ということ。同じ目線の高さで臨まなかった。
- ② 言語の障害
- ③ 風俗や習慣、物の考え方の相違があった。

そこで、RIは、この方向をあきらめ、団体奉仕、金銭奉仕を主軸とするWCSに転向したのです。即ち、1966年、RIはWCS活動に対する例外的措置として、1929年にダラス大会において決議された財政的援助要請の制限条項〔決議 29-12〕を撤廃して、**金銭的援助を可能にし**

ました。

そして、R I の仲人機能（ニーズを要求するクラブと提供するクラブの登録）を使ったのであります。これが現在の WCS であります。

<決議 29-12>（1929 年ダラス大会）：田中 毅 PDG 訳

- 2 如何なる事項に関しても、他のロータリークラブの協力を得んとする加盟クラブは、先ずそれぞれの地区ガバナーに対して、その目的と計画を提出し、その承認を得なければならない。
- 3 如何なる加盟クラブも、先ず国際ロータリー理事会の承認を受けるまでは、他のロータリークラブ或は個々のロータリアンに財政的援助を求めてはならない。

[World Community Service]（1966 年 R I 理事会）

財政的な問題を含むか否かを問わずに、特定の WCS 活動に関しての協力要請がロータリー地区やクラブからあった場合、特定のクラブまたは特定された地区のみを対象とし、すべての地区やクラブが対象にならない場合には財政援助要請に関する決定事項に記された“制約条項”にはあたらないとして援助が受けられるようにする。

それ以来、WCS やロータリー財団の活動が募金活動に置き換えられ、更に、1978 年の [3 H プログラム] や、1985 年から開始された [ポリオプラス] に代表されるような、R I 主導型の大型プロジェクトに推移しているのです。

世界社会奉仕プロジェクトも、素晴らしい活動ではありますが、世界社会奉仕が最終的に目指すものは、相手国の自力更生、独立独歩でなければなりません。相手国のクラブが、労力と金銭を最大限に捧げ、なお且つ及ばない所を我々が援助するというのが本筋であります。しかし現実には必ずしもそうとはいえません。我々の方にも、ただ乞われるままに金銭や器材を寄附して事終れりとする、安易な態度があります。そして我々が奉仕だと思っても、それは徒らに相手の援助願望を助長するに過ぎない、という結果に終わっていることがあります。考えねばならないことです。

ロータリーの国際奉仕の基幹となる思想は、国家、思想、宗教などの要素が複雑に入り交じって、現実には一つとはいえない世界を、ロータリアンの Fellowship に基づいた相互理解によって一つのものにして、恒久の世界平和を目指そうとするところにあるのです。

その観点から活動を見直せば、現在の国際奉仕のプログラムの中で最も大切なものは、ロータリー友情交換、国際青少年交換、ロータリー・フェローシップ、地域大会・国際大会参加、外国クラブの例会参加、友好・姉妹クラブ締結等の活動であると言えます。

変化とは、ロータリー本来の資質です。創始者のポール・ハリスは、1930年6月24日

のシカゴ国際大会で、含蓄に富む次のような言葉を述べました。「ロータリーが、その運命を適正に実現していこうとするなら、ロータリーはいつも進展し続け、時には革新的にすらならなければなりません。」

国際奉仕も変化しました。現ロータリアンは、その歴史を知り、変遷を知り、現在のプログラムを理解しなければなりません。

深川 PDG は、「I Serve は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕の全てにおいて、因縁が熟さないと実践できない。」と述べられています。現在、まだ因縁は熟していないかもしれません。やがて、因縁が熟してきたら、本来の I Serve による WCS も実現するでしょう。

引用文献：深川純一 PDG「国際奉仕」、
田中 毅 PDG「ロータリーの源流」



保健および飢餓



パストガバナー 三軒 久義

ここ数年間、R I 会長の強調事項の一つに「保健および飢餓」が必ず入っています。これは2000年以後、R I 理事会が作成した「奉仕の機会に関する項目」として挙げた9つの世界的な課題と、同時期に国連がミレニアム開発目標として掲げた8つの目標の両方に取り上げられている問題だからでしょう。

保健に関しては、これまで多くのロータリークラブが奉仕活動を行い、成果を挙げてまいりましたが、その最たるものは「ポリオ・プラス」でありましょう。このポリオ撲滅については、ロータリーの友・2008年1月号に「ポリオ撲滅に向かって最後のチャレンジ」とのテーマで掲載されています。

一方、飢餓については、その対極にある飽食の日本に生きている我々ロータリアンが理解するのが難しいように思われますので、「飢餓」について少し考えてみたいと存じます。

世界人口約60億人のうちおよそ8億人が飢餓状態にあるといわれ、そのほとんどがアフリカやアジア太平洋地域（インド、中国、アフガニスタンなど）です。飢餓の原因は飢饉や貧困だけではなく戦争、国情、政治状況など複雑なものが考えられます。一説によると、世界の食料生産量は世界中の人々を養うに十分な量があり、世界の肥満の人数は世界で飢えている人とほぼ同じ人数であり、豊かな国は必要以上の食料を輸入しており、貧しい国の貧しい生産者は、家族が生活できないほどの低価格で食料を買い上げられているとも言われています。私のような戦中派でも飢えに苦しんだことを頭では憶えていてもほとんど忘れてるのが現状ですので戦後生まれの人に飢餓の実感はわからないのも無理はありません。それではわれわれ日本のロータリアンは飢餓救済に対して何が出来るのか？実はロータリーよりももっと飢餓救済を目指して活動している団体が沢山あります。例えば国連世界食糧計画を支援するNPO 法人・国連WFP やYEH(ユース・エンディング・ハンガー)、HFW(ハンガー・フリー・ワールド)などです。

しかしロータリアンは自分の職業倫理の向上を目指して「奉仕の理想」の実践に励んでいるわけですので、その手段として国際奉仕をする際に「飢餓」で苦しんでいる人々に思いを寄せ、WCS(世界社会奉仕)のマッチング・グラントなどでは識字率向上や水保全のプログラムだけでなく飢餓救済のプログラムにももっと参加していただきたく思います。その前に奉仕プログラム委員長さんが例会で飢餓についての情報を発表して頂くことが重要ではないでしょうか。インターネットで調べると多くの情報が得られますのでよろしく願いいたします。

ガバナー補佐のつぶやき



R I 第 2640 地区 I . M 2 組
ガバナー補佐 井脇 雅和

「顔が違う」と言うのが先ず実感した事でした。

担当クラブを訪問させて頂き、会長・幹事さんをはじめ会員の皆様と例会やクラブ協議会を通じて懇談させて頂きました。当然ではありますが、夫々各クラブの持ち味が見事に違っていました。予測はしていましたが、それ以上の点も多々あり私にとっては実に新鮮に感じられました。

共通して言えることは、何と言っても会長の熱い思い、姿勢がヒシヒシと伝わって来たことでした。会長の姿勢一つでクラブの方向は変わると言う思いを強く持ちました。

リーダーの要件は、先ず行き先を指し示す力が第一であり、加えて、決断力、実行力、包容力、徳も欠く事の出来ないものだと思います。しかし忘れてはならないのが「感性」ではないでしょうか？私の訪問させて頂いたクラブの中で、素晴らしい感性を持たれた会長さんにもお会いする事が出来ました。

「会長さん、あなたがクラブの顔です！」情熱では誰にも負けないと言う自信を持ってクラブをリードして下さい。必ずや、6月末の任期満了時に何とも言えない達成感に浸る事が出来るでしょう。

各クラブの幹事さんは、涙ぐましい程、陰の努力をされているのが無言のうちにも強く感じ取れました。

訪問させて頂いた全てのクラブの会長・幹事のコンビは実に見事に機能していました。

例会運営やプログラムもユニークで工夫されていたクラブもありました。

ユーモアに溢れ、ウィットに富んだ例会運営は実に楽しいものです。

しかし、失礼を省みずに敢えて感想を述べさせて頂ければ、一部のクラブでの例会に、メリハリ不足を感じた事もありました。

単なる形式ではなく、「血：ち」の通った「型：かた」即ち「かたち：形」を今少し考慮に入れた方がユーモア・ウィットの中にも更に風格のある例会になるのではと独りよがりにも思ったりもしました。

半年少々の間のガバナー補佐としての経験の中で沢山の事を学ばせて頂きました。

この事は、今までにロータリーから得た貴重な財産の上に、かさ張らない、目には見えないけれどズシリと重い宝物を得た気が致します。

会長経験者の皆様！ガバナー補佐に就任する機会があれば、断らずに「ハイ喜んで」と言って引受けて下さい。必ずやロータリーの新しい、素晴らしい魅力を発見し、ロータリーを大いに楽しむ事が出来るでしょう。

平原祥彰ガバナーに、ガバナー補佐に任命して頂いた事に対して心からの御礼を申し上げつつ、残りの任期を精一杯努めようと決意を新たにしています。

思うこと

R I 第 2640 地区 I . M 4 組
ガバナー補佐 溝端 莊悟



I M 4 組は、橋本 R C、粉河 R C、岩出 R C、高野山 R C、橋本紀ノ川 R C の 5 クラブを担当させて頂いていますが、その中、伊都地方の橋本、高野山、橋本紀ノ川の 3 クラブが私の受持ちです。創立、橋本 5 2 年、高野山 2 2 年、橋本紀ノ川 1 2 年と歴史と共に、各クラブ共に性格は違いますが立派な奉仕活動をされています。

特に今年度は粉河クラブからガバナーが出ている事もあり、5 クラブが連携してゆく事にも努めています。

早いもので今年度も残りの方が少なくなりました。しかし、地区大会、国際大会など、多くの行事が残っています。力を抜く事なくアシスタントに努めたいと思っています。みな様、宜しくお願いします。

私事で恐縮ですが 4 0 歳で青年会議所と一年ダブリながら入会させて頂いて 2 5 年、1 0 0 % の出席を維持させて頂きながらロータリーから多くの学び、多くの友を得させて頂きました。お陰様で事業経営にも、自身の人間形成にも大きなお蔭を頂きました。2 6 4 0 地区の会員様始め全国の会員様に感謝です。4 0 代、5 0 代は仕事上、北海道から九州、沖縄までメーキャップが多く、多い年には年 2 0 ~ 3 0 回を様々なクラブに寄せて頂き多くのみな様にお世話になりました。最近では、自クラブが多くなっていますが、またメーキャップも多くなりそうです。寄せて頂くクラブは全部違った雰囲気です。朝のクラブ、昼のクラブ、午後のクラブ、夜のクラブ、都会のクラブ、地方のクラブ、会員の多い、少ない、全て違いがあり本当に楽しいです。みな様同じ会員として温かく接して頂けるし、特に何回か訪問させて頂く遠方のクラブでは、適当に時間を与えて頂いたりすることも多々ありました。

ロータリーは自分を磨き作る場所 だと思います。

そして社会で喜んで頂ける人となり、社会に奉仕する事業を通じ、直接、間接に様々な奉仕活動をする事だと思います。独断と偏見です。お許し下さい。

ロータリーが私に与えたもの



R I 第 2640 地区 I . M 5 組
ガバナー補佐 石倉 保彦

今年度の上半期、私にとって次の二件に大きな収穫があったと思っています。一つは「職業奉仕」の件、もう一つは「ガバナー補佐」に関わる件です。夫々に同じ話を二度またはそれ以上聞くことで、改めてロータリー理解を深めることが出来たと今考えています。

「職業奉仕」の件とは、今年度上半期、クラブ職業奉仕委員長を担当していた関係で、角谷地区職業奉仕委員長を例会にお招きし、「職業奉仕について」の卓話を聞きました。地区の会合でも一度聞き、再度クラブで同じ趣旨のお話を聞きました。二度聞くことで私はより深く理解することが出来ました。「職業奉仕」というロータリーならではの奉仕、その意味をわからないままに、またわからないことを当然のごとく過ごしてきた今までのロータリーを、改めて反省しました。

二件目。ガバナー補佐に任命され、わからないままに関係クラブを訪問させていただきましたが、その節には大変ご協力いただき、感謝申し上げます。ガバナーからは、クラブ協議会において各クラブの良い所、他クラブにとって参考になるところを、クラブ訪問において見出し、それを報告してほしいとの依頼でした。十分に把握できたかは疑問ですが、私なりにクラブを観察させていただき、ガバナーに報告しました。そして、ガバナーと同行して担当六クラブを回り、ガバナーの今年度の方針、アドレスを六回聞かせていただきました。ガバナー補佐として、他クラブの活動、様々な課題を見聞きし、情熱的なガバナーの話聞くことで、ロータリー理解が深まったことは、大きな私の財産となりました。

平原ガバナーは、「ロータリーを楽しもう」を提唱され、そのための手段としていろいろ考えられ、また新たな工夫がなされています。

その一つは、ガバナー補佐制度の活用と充実です。1月号の8ページに大村ガバナー補佐(IM5組)が書いていますように、平原ガバナーは私たちガバナー補佐に、役割を指示され、ロータリーを楽しもうという「仕掛け」を作られていると解釈しています。IM5組のガバナー補佐は話し合いの中で、ガバナー補佐制度の活用と充実のためには、前、現、次期のガバナー補佐が連携して経験をつみ、継承し、発展させることは、地区からクラブへの、またクラブから地区への橋渡し役であるガバナー補佐にとって、大事なことであろうと考えています。

二つ目は、地区大会において、今までに無い「ガバナー表彰」をしようと、意気込んでおられます。表彰の中身は、ユニークな、秀でた、またあっと驚くような奉仕活動、ロータリー活動を、ガバナー補佐を介してガバナーに推薦してほしいと希望されています。各クラブにおかれては積極的に、そのような奉仕活動、ロータリー活動の発掘をお願いしたいと思います。地区大会が楽しい大会になることを期待しています。

今までは、一クラブのロータリアンであり、またそれに満足していた自分であったと思います。ガバナー補佐を任命され、わからないままに半年を過ごし多くの経験をさせていただきました。残り半年足らずですが、関係クラブ並びに、ロータリーの皆様にはご協力いただき、次年度に引き継ぐことができれば望外の幸せであります。



ガバナー補佐 所感



R I 第 2640 地区 I . M 6 組 ガバナー補佐
貴多野 泰夫 (岸和田南 R C)

今年度ガバナー補佐を拝命し、早や7ヶ月が経過し、補佐の役目もほぼ終盤に入りつつあり一寸ほっとしたところではありますが、私が担当させていただいた岸和田4クラブと貝塚2クラブの計6クラブを訪問させていただいた率直な感想はどのクラブもアゲンストの風が吹き会員減少に悩まされながらも本当に一生懸命クラブ活性化に取り組んでいる姿がありありと見られます。共通の悩みは会員の減少であり、それが経済的理由なのかロータリー活動のマンネリ化による減少なのか、こうすれば会員の増強につながるという決め手が見えずにいる様に思います。しかし現状のロータリークラブは財政的な面もさることながらむしろ活動がマンネリ化している様な面も見受けられ、その事が会員減少に拍車をかけている様にも思えます。

財政的な負担も大きく社会奉仕活動をするにも苦しい中で活動を行うにはどうすればいいのか?という事も停滞する原因かも知れませんが、これを打開するのは汗をかく奉仕活動をする以外にないと思います。金をかけずにその分は自分達が自ら動き汗をかくという事を会員一人一人が自覚し、その奉仕に参加する事がひいては会員同志の結びつきを強固にしクラブの活性化につながると思います。ただ会費を払って昼ごはんを食べに来る会員では決して活力あるクラブにはならないと思います。

今年度は特にCLP計画を押し進めクラブ組織をそれぞれのクラブに見合った組織に組み換えクラブ会員全員がアクティブに活動出来る様にしようというのがCLPだという事をどのクラブも理解して下さり議論を始められている事は活性化に向けた非常に意義のある取組みだと思えます。担当させていただいた各クラブの方々からは異口同音に「会員は減ったけれどもかえってクラブのまとまりが良くなった。」という事もよく耳にします。訪問させていただいた各クラブは本当に心から歓迎して下さり恐縮しています。各ロータリークラブの奮闘ぶりをつぶさに見せていただきロータリーの素晴らしさを改めて感じた次第です。私も大いに勉強させていただき感謝しています。

米山奨学生社会貢献活動

第2弾 和泉高校の汕頭一中来訪交流支援



2007年11月19、20、21日の3日間、創立100周年を記念して交流を始めた中国広東省の経済特区汕頭市の第一中学(日本では高校にあたる)との交流は今回は来訪されることになり授業参加や音楽交流会、生徒会交流、岸和田市長訪問など多彩な生徒同士の交流を円滑にするため4人の米山奨学生が通訳をかってでてくれたおかげで行き届いた交流ができました。



朴 貞子
大阪府大
(岸和田)

金 美 林
大阪府大
(貝塚コスモ)



米山奨学生を代表とした私ら4人は小さなグループでありましたが、それぞれが役割分担をしっかりと果たし、今回の社会活動が順調に出来ました。日本での初めての社会活動体験でした。ツアー通訳で移動、名物説明など私も分からないところで、大変なこともありましたが、このような活動を通して、同郷人、私とも多くの知遇を得ることが出来て嬉しかったです。今回の社会活動は私が米山奨学生だからこそ、参加できるチャンスで本当に米山奨学生として強い誇りを持ちました。

今回の和泉高校生との交流を通じて、和泉高校生にとっては中国の文化に触れる機会になり、留学生にとっては日本の高校生が中国に対する気持ちを分かってもらえる機会でも、または中国の文化を日本の若者に紹介できる機会でもありました。そして、米山奨学生としてこれから何をしていくべきかという使命感を体験するいい機会でもありました。これからもできればこういう機会をより多くの留学生が体験できることを期待しています。

両国の生徒たちが積極的に交流を深めようとしている姿を見て私もすっかりと彼らの一員となったつもりで通訳をしながらみんなと一緒に話をしました。今度の活動は中国と日本生徒の間に入って通訳させて頂くことによって自分自身も二つの国の学校文化を理解しとてもやりがいのある社会活動でした。また、私の留学生活をもっと有意義に送らせてくれるチャンスを与えてくれたロータリークラブに感謝します。



ヨウ、ブン、リン
プール学院大
(岸和田)

李 瑤
大阪府大
(堺フェニックス)



国際ロータリー第2640地区 米山学友会 米山事業委員会

新入会員紹介

12 月



えいらく つとむ
永楽 務

所属クラブ：御坊RC
職業分類：損保代理店
生年月日：1956年4月22日



かたやま かつみ
片山 勝己

所属クラブ：和歌山北RC
職業分類：鋼製建具及びガラス工事
生年月日：1947年1月3日



やまぞえ かつよし
山添 勝吉

所属クラブ：和歌山南RC
職業分類：ビール製造
生年月日：1963年8月19日



訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



もり たみお
森 民夫様 (御坊RC)

2007年12月30日死去

在籍期間：1976年5月14日～

2007年12月30日

職業分類：果物栽培

ポールハリスフェロー：マルチプルフェロー③
(\$4,000)

米山功労者：21回 (累計¥600,000)

生年月日：1935年2月20日



なかむら あきら
中村 晃様 (富田林RC)

2007年12月6日死去

在籍期間：23年4ヶ月

職業分類：金物販売

ポールハリスフェロー：マルチプル2回

米山功労者：4回

生年月日：1934年10月25日

PHF・ベネファクター（12月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
栗原 益男	1	有田	田村 健治	1	海南東
川村 克人	3	有田	小西 喜代一	BE	貝塚
細木 博	1	藤井寺しゅら	信 聖瑞	1	貝塚
栗本 浩		御坊東	林 孝信	1	貝塚
菅野 忠重	1	橋本	塩谷 一郎		貝塚
喜多 啓允	3	橋本	北島 一樹	BE	河内長野
倉淵 信哉	1	橋本	谷 洋治	2	河内長野
楠本 史郎		橋本	児山 芳彦	2	河内長野
溝端 莊悟	3	橋本	小山 潤二	1	岸和田北
村木 重彦	2	橋本	西出 省三		岸和田北
坂口 卓		橋本	平原 祥彰	2	粉河
安川 忠治	2	橋本	矢倉 甚兵衛	BE13	串本
吉田 裕	8	橋本	福井 隆一郎	1	堺
山本 敏捷		橋本	神山 紀夫		堺
平井 孝幸	BE	橋本	林 勝行	1	堺東
明渡 眞幸	2	岩出	野村 昌昭		堺東
藤平 良光	2	岩出	竹山 時和	2	堺東
久保 光伸	2	岩出	八百 正浩		堺東
水崎 哲男	1	岩出	吉田 元亮	1	堺東
大東 敏晃	1	岩出	今野 利雄	2	堺東
和田 脩	4	岩出	土師 吉三郎	5	堺泉ヶ丘
榎本 善夫	2	泉大津	比楽 卓郎	4	堺泉ヶ丘

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
深井 喜一	BE	泉大津	金納 義二	2	堺泉ヶ丘
林 巖	1	泉大津	物種 利仁	BE	堺南
平山 和之	3	泉大津	吉積 勉	2	堺西
川端 潔	3	泉大津	岡田 充夫	BE	泉南
中島 治一郎	大口2	泉大津	福田 功		新宮
南 慎一	2	泉佐野	坂東 剛	BE	高石
下出谷 先雄	2	泉佐野	木綿 紀文		和歌山
奥 勝次	3	海南	西岡 千博		和歌山
沖殿 正博	1	海南	織戸 哲郎		和歌山
山本 敏廣	2	海南	竹中 喜廣		和歌山
深谷 政男	BE	海南東	島 和代	3	和歌山アゼリア
山名 正一	BE	海南東	岩橋 本博		和歌山西
荻野 昭裕	1	海南東			

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者 (1 2 月 分)

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
橋爪 正芳	2	有田	内芝 秀樹	1	岸和田北
星野 映子	3	羽衣	山本 彦治	1	岸和田北
北中 登一	5	羽衣	久保 伸雄	2	岸和田南
柘田 公平	1	羽衣	堀本 京子	17	串本
中谷 育弘	2	羽衣	荒木 恒治	4	堺

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
高岩 弘至	2	羽衣	神山 紀夫	1	堺
谷野 一彦	2	羽衣	熊野 道夫	9	堺
山條 康次	4	羽衣	竹内 芳彦	1	堺
米澤 清和	2	羽衣	富田 茂利	7	堺
藤平 良光	4	岩出	和田 喜代子	10	堺
藤岡 昭彦	1	岩出	米田 喜重郎	9	堺
水崎 哲男	2	岩出	堀内 英雄	8	堺南
浅井 功策	1	和泉南	平島 とし子	1	泉南
深阪 好孝	6	和泉南	松下 光春	7	泉南
阪口 吉男	6	和泉南	畑地 誠	4	田辺東
藤原 喜代彦	4	泉大津	谷中 順次郎	2	田辺東
川上 正人	5	泉大津	岩橋 重文	4	和歌山北
高寺 壽	3	泉大津	鈴木 寛	7	和歌山北
桐葉会 木島病院		貝塚コスモス	龍田 潤三	1	和歌山北
石倉 保彦	6	河内長野	和関 義和	7	和歌山北
片山 雅一	1	河内長野	生駒 直也	1	和歌山南
阪口 武夫	1	河内長野	大桑 祥嗣	2	和歌山南
古下 悦朗	3	岸和田北	市川 正夫	4	和歌山東南
西出 省三	1	岸和田北	神谷 尚孝	11	和歌山東南
谷川 賢教	3	岸和田北	駒阪 純章	1	和歌山東南

ハイライトよねやま 95号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

.....
:: 今月のトピックス ::



2008年1月15日発行

-
1. 寄付金速報 — 2008年も引き続きよろしくお願いいたします —
 2. ガバナーエレクト／次期米山委員長合同セミナー開催
 3. 母国のサイクロン被災者を救え —米山学友 メスバ・ウディンさん—
 4. 日本語弁論大会で米山学友が準優勝！
 5. 学友の里帰り制度「米山学友ホームカミング制度」

文庫通信 (245号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報資料2

- ◎「基本にもどって」 ビチャイ・ラタクル (D.2630 地区大会) 2007 8p PDF
- ◎「ロータリーはよいところ」 渡辺好政 (D.2690 月信) 2007 3p PDF
- ◎『会員増強』と『ロータリー財団』-RI 長期計画の立場から 渡辺好政 (D.2690 月信) 2007 1p PDF
- ◎「増強はクラブとロータリアンの強化が唯一の方法 それは新会員の意識を高めることから出発する」 服部芳樹 (D.2690 月信) 2007 1p PDF
- ◎「ロータリークラブと女性会員」 多田 宏 (D.2580IM 報告書) 2007 8p PDF
- ◎「第二世紀を迎えたロータリーの変貌」 田村亮夫 2007 8p PDF
- ◎「ロータリーの新しい魅力を求めて」 小谷典子 (D.2630 地区大会) 2007 17p PDF
- ◎「自らを省みて諸君に伝えたいこと」 米山道男 2007 29p PDF
- ◎「インターアクトクラブの実践と今後のボランティア活動」 武笠和夫 (「ボランティア学習の遊人たち」から) 2007 27p PDF

[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



第2640地区 出席報告 (2007年12月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	12月 出席率	平 均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	12月 出席率	平 均 出席率
	07.7.1	12月末	12月	累計	12月	累計					07.7.1	12月末	12月	累計	12月	累計			
有 田	37	37	0	0	0	0	4	84.62	86.15	大 阪 金 剛	30	30	0	0	0	0	3	95.57	86.66
有 田 南	38	33	0	0	4	5	3	82.64	89.86	大 阪 狭 山	5	5	0	0	0	0	3	90.00	86.70
有田2000	20	19	0	0	1	1	4	60.26	74.71	りんくう泉佐野	26	26	0	0	0	0	3	86.65	84.38
藤 井 寺	12	11	0	0	1	1	3	100	88.52	堺	77	79	0	5	3	3	3	93.22	89.79
藤井寺しゅら	16	16	0	0	0	0	3	93.80	90.80	堺 東	33	32	0	0	1	1	3	97.62	98.61
御 坊	55	56	1	2	1	1	3	91.24	90.32	堺北西南西	19	19	0	0	0	0	3	81.48	76.23
御 坊 東	20	21	0	1	0	0	3	82.54	84.08	堺 泉 ケ 丘	23	24	0	2	0	1	3	97.22	95.99
御 坊 南	33	32	0	1	0	2	3	91.40	89.35	堺 北	37	37	0	0	0	0	3	79.57	75.49
羽 曳 野	29	31	0	6	2	4	3	88.97	91.41	堺 南	37	34	0	0	2	3	4	91.94	87.41
羽 衣	24	24	0	1	0	1	4	85.38	85.70	堺 中	30	27	0	1	4	4	3	64.20	63.56
阪 南	15	14	0	1	0	2	4	94.63	97.86	堺 西	25	26	0	1	0	0	3	91.67	87.04
橋 本	55	56	0	3	1	2	3	94.23	91.69	堺おおいずみ	32	32	0	1	1	1	3	88.89	85.65
橋本紀ノ川	22	24	0	2	0	0	4	77.00	85.50	堺フェニクス	22	22	0	0	0	0	3	71.66	74.03
岩 出	29	29	0	0	0	0	3	91.95	92.98	堺 清 陵	24	24	0	0	0	0	3	95.24	96.18
和 泉	39	40	0	1	0	0	3	79.41	78.57	堺 泉 北	12	10	0	0	0	2	3	85.70	84.88
和 泉 南	35	38	0	3	0	0	3	53.50	53.88	堺 東 南	14	13	0	0	0	1	3	70.00	76.95
泉 大 津	50	53	0	3	0	0	3	82.61	81.43	泉 南	23	20	0	0	0	3	3	83.33	82.65
泉 佐 野	34	36	0	3	0	1	3	86.66	88.71	新 宮	59	57	0	2	3	4	3	83.59	83.76
海 南	45	45	0	2	2	2	4	64.89	68.93	白 浜	17	17	0	0	0	0	3	97.78	94.91
海 南 東	69	69	0	0	0	0	3	80.88	82.33	忠 岡	15	15	0	0	0	0	3	69.23	65.13
海 南 西	24	23	0	1	2	2	3	81.33	84.85	太 子	6	7	0	1	0	0	4	85.71	79.13
貝 塚	20	22	0	4	0	2	3	100	98.88	高 石	30	30	0	1	0	1	3	71.15	72.56
貝塚コスモス	21	22	0	1	0	0	4	86.36	85.55	高 師 浜	21	19	0	0	2	2	3	84.21	83.74
関西国際空港	35	34	0	2	2	3	5	62.86	66.48	田 辺	85	86	0	3	0	2	4	88.29	89.03
河内長野	31	30	0	1	1	2	3	85.20	85.20	田辺はまゆう	39	35	0	2	5	6	3	70.63	70.50
河内長野東	26	27	0	1	0	0	4	86.25	89.29	田 辺 東	50	51	0	1	0	0	3	92.51	93.51
岸 和 田	54	53	0	1	0	2	3	83.33	82.64	富 田 林	37	38	0	2	1	1	4	78.57	75.29
岸 和 田 東	56	55	0	0	1	1	4	85.21	89.51	富 田 林 南	21	20	0	0	1	1	3	78.43	79.50
岸 和 田 北	31	30	0	0	0	1	4	96.30	95.35	和 歌 山	73	76	0	4	1	1	4	83.84	85.00
岸 和 田 南	21	22	0	1	0	0	3	95.45	91.99	和歌山アゼリア	44	42	0	0	1	2	3	78.28	79.46
粉 河	23	23	0	0	0	0	3	95.65	95.11	和 歌 山 東	58	58	0	0	0	0	4	89.80	90.40
高 野 山	25	25	0	0	0	0	3	77.67	79.92	和 歌 山 城 南	39	41	0	2	0	0	3	90.99	88.14
串 本	10	10	0	0	0	0	3	83.33	72.50	和 歌 山 北	47	47	1	1	1	1	4	78.32	76.55
松 原	39	38	0	0	0	1	4	86.46	84.01	和 歌 山 南	87	90	1	3	0	0	3	77.92	84.15
松 原 中	23	25	0	2	0	0	4	83.70	84.75	和 歌 山 中	32	31	0	0	1	1	3	77.33	79.41
美 原	24	26	0	3	0	1	3	95.80	93.40	和 歌 山 西	20	20	0	0	0	0	3	94.74	94.74
那 智 勝 浦	20	20	0	0	0	0	3	64.91	69.64	和 歌 山 東 南	39	39	0	0	0	0	3	85.59	87.07

クラブ	7月1日クラブ会員数				12月末クラブ会員数				12月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2319	女性	129	男性	2317	女性	131		12月	累計	12月	累計
74	2448				2448				81.89	3	78	45	78

2 月 世界理解月間

1日	(金)	事務職員IT研修会	ビッグユウ
2日	(土)		
3日	(日)	2007～2008 年度長期受け入れ学生・クラブカウンセラー・ホストファミリーによる懇談会 2008～2009 年度長期派遣学生への第3回オリエンテーション(保護者同伴) ローターアクト地区連絡協議会	テクスピア大阪 キックス(河内長野市立市民文化交流センター)
4日	(月)	事務職員IT研修会ホテル	サンルート関空
5日	(火)		
6日	(水)		
7日	(木)		
8日	(金)	事務職員IT研修会	ホテル第一堺
9日	(土)	IM2組(ホスト:有田南RC) 全国ローターアクト研修会(9-10日)	吉備ドーム 仙台市
10日	(日)		
11日	(月)		
12日	(火)		
13日	(水)		
14日	(木)		
15日	(金)		
16日	(土)	IM1組(ホスト:田辺RC)	田辺市紀南文化会館 4F
17日	(日)	米山奨学生期間修了者歓送会 インターアクト海外研修報告会(ホスト:堺女子高校、飛翔館高校)	テクスピア大阪4F 堺女子高校
18日	(月)		
19日	(火)		
20日	(水)		
21日	(木)		
22日	(金)		
23日	(土)	堺西RC創立 25 周年記念例会	リーガロイヤルホテル堺
24日	(日)	2008～09 年度のための第 2 回ガバナー補佐研修会	JR 和泉府中駅前うお健ビル
25日	(月)		
26日	(火)		
27日	(水)		
28日	(木)		
29日	(金)		



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/hirahara/>

勤務時間 9:00～17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 宇田 勝彦

事務職員 山本千恵子 平田有紀子